

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金

公開プレゼンテーション

入門コース・発展コース

◆会場 ひらつか市民活動センター

◆開催日 平成31年3月16日（土）

目次

- スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 申請団体一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 入門コース 助成申請書（5団体）・・・・・・・・・・P3～22
- 発展コース 助成申請書（7団体）・・・・・・・・・・P23～50
- 運営委員紹介・寄附紹介・・・・・・・・・・P51

公開プレゼンテーションスケジュール

●開催日：平成31年3月16日（土）

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内 容
13:00	<p>申請団体・来場者受付開始</p> <p>※ 申請団体の代表者は13:25までに受付をお願いします。</p>
13:30	<p>公開プレゼンテーション開会</p> <p>・審査委員紹介、スケジュール説明等。</p>
13:45	<p>プレゼンテーション</p> <p>・申請団体による発表は5分以内、審査委員との質疑は3分以内（質問に関する回答は1分以内程度）とします。</p> <p>〔入門コース 発表〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 上惣領竹あかり ② あいあいリトミック ③ 平塚100人カイギ ④ 安心・安全を考える会 ⑤ 八幡郷土史編纂委員会 <p>〔発展コース 発表〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾 ② NPO法人 暮らし・つながる森里川海 ③ カベラ日本語の会 ④ 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋 ⑤ ひろばの会 ⑥ ひなポンクラブ ⑦ つるかめ社中
16:00	<p>閉会（会場は参加団体同士・審査委員との交流に利用可能）</p>

申請団体一覧

●入門コース(5団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	上惣領竹あかり	七夕飾りと竹燈籠づくりで地域おこし	10万	3
2	あいあいリトミック	リトミックによる子どもの発達支援・音楽療法による、障がい児、者、高齢者の自立支援	10万	7
3	平塚100人カイギ	平塚100人カイギ	10万	11
4	安心・安全を考える会	レッツ防災119、レッツ防犯110	10万	15
5	八幡郷土史編纂委員会	八幡郷土史集大成版の作成準備	10万	19
		合計	50万	

●発展コース(7団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾	増え続ける子どもの諸問題への予防・軽減・回復事業	50万	23
2	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	湘南いきもの楽校 プロジェクト 子どもが元気、いきもの元気、地域が元気	50万	27
3	カベラ日本語の会	「ボランティアのための養成プログラム」作成と増える日本語を母語としない人への日本語を通じた支援の継続	18万	31
4	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	子どものための学習支援教室	21万	35
5	ひろばの会	ひろばの会 創立40周年記念—講演・上映・交流—	11万	39
6	ひなポンクラブ	自治会キャラクターを活用した地域の活性化	50万	43
7	つるかめ社中	民謡踊りを楽しむ知的障がい者の活動	17万	47
		合計	217万	

第2号様式（第8条関係）

受付番号	入門コース 1
受付年月日	平成31年 2月 5日

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	（フリガナ） 上惣領竹あかり										
② 所在地	平塚市上屋										
③ 代表者名	石黒 憲造										
④ 設立年月	2017 年 3 月 （法人格取得年月 年 月）										
⑤ ホームページ	http://										
⑥ 設立目的・経緯	<p>今までは子供会中心で七夕飾りを作っていたが、2017年から小学生が居なくなる。小学生が中心で作っていた七夕が途絶えると一部の声が上がって存続に賛同する方々と小さな子供がいる家族が中心で始めた。一方で地元には多くの竹林があるが利用頻度は低く獣の仕舞となっている。そこで地元の竹を利用して何か地域おこしが出来ないかと考えていたところ上屋の竹を利用している軒先の方と出会い竹燈籠作りを始めた。</p>										
⑦ 活動の概要・実績	<p>七夕飾りの作成は費用を極力かけない手づくりで平塚市の七夕期間に合わせて述べ4～5か月掛けて様々な飾りを作成した。17年は3等賞、18年は2等賞と実績をあげた。2年目から竹燈籠作りもはじめ毎月2回集まり技術の交換や共同製作を行い七夕とコラボして7月7日に上惣領自治会館にて鑑賞会を開き地域活性と親睦を深めた。その他として①地元土沢中学校で生徒たちの竹燈籠実習があり、その実習会に技術指導を行った。（2018年）。②旭地区の「ゆとりすと」グループと田んぼにて展示共催した。（2018年）</p>										
⑧ 過去に受けた助成等の実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容				
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容								
⑨ 年度に受ける予定の助成等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容				
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容								

⑩ 会員数			
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	会長	石見 憲三	平塚市上屋
	副会長	藤田 福美	平塚市上屋
	副会長	百部 友幸	平塚市上屋
	事務長	上野 恵寿子	平塚市上屋
	会計	福井 智恵	平塚市上屋
	会計	秋山 多恵子	平塚市上屋
	役員	大野 謙治	平塚市上屋
	役員	宮田 港夫	平塚市上屋
役員	長瀬 正太郎	平塚市上屋	
役員	石原 智子	平塚市上屋	

2 補助申請の内容

① 事業名	七夕飾りと竹燈籠づくりで地域おこし
② 申請コース	<p>① 入門コース</p> <p>② 発展コース</p> <p>【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限あり(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】</p>
③ 申請額	10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>①地域のつながり 私たちの地域では高齢化が進み半数の家庭が一世帯で、子どもたちとの交流も減り元気が無くなってきている、子供会で作っていた七夕飾りを大人が作っていく事で、家族以外の人たちとの交流も深まり年をとっても元気で居続ける地域作りを目指す。</p> <p>②土屋の竹をどうにかできないか 土屋の竹材を利用している方と出会い、見学してもらいその作品に感動を覚えた、七夕だけでは半年の活動で終わるため年間を通してできる物として竹燈籠作りを始めた、将来は全戸に竹燈籠を灯し活性させたい。</p> <p>③市の七夕を盛り上げる 上惣領は平塚の西の玄関口にあり、ここから七夕を盛り上げる。土屋にはあと3つの自治会があるので、土屋全体に広がれば市の七夕「イベント」に活気が出る。</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を考めて具体的に記入してください。	

<p>② 事業の内容</p> <p>この事業の目的や記入した内容を必ず書き、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>七夕飾り作り</p> <p>上惣領自治会の世帯数は 65 戸ありますが、会員の参加を求めながら、今年も同様、主に短冊・折込紙を配布し、全員参加の活動による七夕飾りは毎年七夕を締め切る自治会形とする。</p> <p>土曜公民館では盛大な飾りを毎年作り参加しているが、他自治会の盛り上がりが見えないので、七夕飾りを土曜全体に広げるために土曜自治連合会一働きかけをきっかけに市の七夕飾り大会盛り上げ月にする。</p> <p>竹燈籠作り</p> <p>竹燈籠は現在約 60 体ありますが、四季折々のデザインや子供たちがも愛されるキャラクターなどを手掛けて、将来は全戸竹燈籠を灯し活性化を図りたい。また色をなくして土曜会場に展示を始めるのか、テーマ展示も考えておき定期的に貸し出ししたい。</p> <p>また地元九沢中学校からの技術指導の要請が来れば応えたい。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の場所、実施方法、実施時期、参加者の利益点等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>活動拠点は上惣領自治会館で実施する。</p> <p>2月から第2.4土曜日午前の部午後の部と上惣領自治会館を年間予約する。</p> <p>七夕飾りは6月末までに完了する。</p> <p>7月5日は8時より竹の切り出し、その後飾り付けは審査時間までに完了する参加はメンバーが中心で行い更に全員参加の活動に繋げていく。</p> <p>竹燈籠は11月12月の新月の日に竹の切り出しを行う</p> <p>長さ3メートルのものを20本ほど切り出す。</p> <p>灯籠の図柄はテーマを決めみんなで意見を出し合い決めて行く。</p> <p>11月、「ゆとりサト」グループと展示共催する。</p> <p>11月、七国壮まつりに展示する。</p> <p>10、11月の第1、第3土曜日にさる菊展に竹燈籠を参加して共演する。</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>活動に参加して一緒に物を作り上げる達成感と感動を覚え、会話が弾み日頃の寂しさを忘れさせる。</p> <p>また小さな子供がいる家庭では親子参加し子供は高齢者に高齢者は子供に癒される。期間中は「おキク」中の方も気軽に立ち寄り水分補給しながら家族以外の人々と談笑する場作りで生き生きしてくるし、隣近所の人たちの元気な姿が把握できる。また相乗効果としても、七夕飾りと竹燈籠作りでは大量の竹材を使用するため竹藪が整備される。</p> <p>さらに獣の住処になっていた所に人が立ち入ることで、野生動物による農産物の被害防止に繋がる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>子供会 ジャガイモの会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）
① 収入		
補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金
寄付・助成金	2,000 円	賛同者からの寄付 2,000 円
会費	15,000 円	年会費 500 円 × 30 名
	円	
	円	
収入合計	117,000 円	発展コース：対象経費 円 補助金の申請限度額 円
② 支出		
事業費	うち対象経費	うち補助金
具体的な内容（積算根拠等）		
消耗品	40,000 円	40,000 円
		色紙 200 組 21,600 円、短冊 300 枚 3,240 円、画用紙 100 枚 2,160 円
消耗品		
		接着剤 1,120 円、カーセツス 400 円、糊造りテープ 2,160 円、マスキングテープ 4,320 円
物品購入費	65,000 円	57,000 円
		充電式電池 11,880 円 × 3、円筒電池 6,180 円 × 3SET コンタクト 1,180 円 × 1 箱
	円	円
		ジグソー 8,740 円 × 1
印刷費	7,000 円	3,000 円
		短冊絵の印刷 300 枚 2,000 円 / 代 5,000 円
食糧費	6000 円	0 円
		お茶・ジュース・つまみ代・その他は会費より支出
支出合計	117,000 円	112,000 円
		100,000 円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。

受付番号	入門コース2
受付月日	平成31年2月8日

第31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) アイアイ リトミック あいあいリトミック			
② 所在地	平塚市 河内			
③ 代表者名	中西 さず江			
④ 設立年月	30年 1月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	五感や筋肉の感覚、身体全てを使い、音楽を体験し、心身の調和を目指すリトミックや、音楽の持つ生理、心理、社会的働きにより、心身の障がい、機能の回復を目指す音楽療法を用いて、全ての子どもや高齢者、障がい児者が楽しく生き生きと生活する事ができる社会を目指し活動しています。			
⑦ 活動の概要・実績	未就園児親子を対象とした子育てリトミックサークル(月4回) 公民館、幼稚園、福祉会館 でのリトミックコンサート (依頼により実施) 子ども発達支援室くねまんでは幼児対象のリトミック(月2回) 障がい児施設での音楽療法、コンサート(不定期) 高齢者施設での音楽療法、コンサート(月4回)			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
⑨ 31年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	社会福祉協議会 子育て支援事業等補助金	5月	15,000円	子育て支援

⑩ 会員数	信人 <u>5</u> 人 (うち平塚市民 <u>4</u> 人) 団体= _____ 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	① 代表	中西 河江	平塚市河内
	② 副代表	相原 真由美	平塚市四ノ宮
	③ 会計	相原 振一郎	同上
	④ 監査	中西 順一	平塚市河内
	⑤ 監査	谷口 晃子	鎌倉市材木座
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
⑩			

活動に携わるメンバーを記入してください。
10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。

2 補助申請の内容

① 事業名	・ リトミックによる子どもの発達支援 ・ 音楽療法による、障がい児、高齢者の自立支援
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) <u>入門コース</u> ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	発達障がいの疑いがあるといわれるグレーゾーンの子どもの 10人に1人いるといわれる昨今、なまの音楽で、コミュニケーション 能力や音楽能力の向上に役立つといわれるリトミックを用いて、 子どもの発達の手助けを目的としています。 また今後迎える超高齢社会に向けては 人の心の深い部分に直接働きかけ、その人の病気や障がい 問題行動などを良い方向に変化させていく治療手段である 音楽療法で自立の手助けをし、毎日を楽しく生活できる ような支援を目的としています。
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>障がいの有無に関わらず、多様性を尊重するインクルーシブ教育の考えに元ずき、リトミックサークル、コンサート活動を実施します。全ての子どもも高齢者が安全にかつ、楽しく音楽活動に参加できるように配慮する必要があります。</p> <p>公民館の床はかたく、滑るため幼児対象のリトミックでは、クッション性のあるジョイントマットを敷く必要があります。</p> <p>また、多様な音楽を体験し、楽しむという観点から、タンバリンなどの楽器の種類や数を揃えたいと考えます。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>大野、旭北公民館 (月3、4回参加人数10-20名)</p> <p>未就園児親子対象の子育てリトミック</p> <p>公民館、福祉会館、幼稚園(リトミック)コンサート (依頼により実施約100名)</p> <p>子ども発達支援室(れん)と幼児対象のリトミック(月2回)</p> <p>障がい児、若者施設での音楽療法、コンサート(不定期)</p> <p>高齢者施設での音楽療法、コンサート (月4回)</p> <p>将来的には、子どもから高齢者まで幼世代が参加できる場、コンサートなどを行いたいと考えています。</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>多様な音楽を楽しむ交流の場を提供することで、心身のストレス軽減や、活性化が期待できます。</p> <p>地域のつながりを作り、子どもから高齢者、障がい者まで皆が思いやりを持って、助け合えるような温もりある社会の実現を目指します。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東ブロック公民館 家庭教育学級 ・ 神奈川県歌唱赤十字奉仕団 ・ 平塚市子ども発達支援室 くれよん

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	100,000円	平塚市市民活動推進補助金		
リトミック参加費	144,000円	月4回のリトミック参加費 1回500円×6人×月4回×12ヶ月		
コンサート	44,045円	依頼によるコンサートにかかる交通費 1回7,000円×5回 制作費 ¥1809×5		
収入合計	288,045円	発展コース：対象経費 円× % 出 補助金の申請限度額 / 0.5000...		
② 支出				
事業費	うち対象経費 うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）		
設備費	177,588円	177,588円	100,000円	ポイントカード①2,800×4 教育用カバン①9980×3 教育用カバン②940×70 9.79260.2592×70 ITシステム①1734×3 ITシステム②1224×5 84.0324×5 777760.540×5 タブレット①432×20 タブレット②268×2
教材費	20,000円	20,000円	0円	楽譜 @ 2,000 × 10
事務・通信費	10,217円	10,217円	0円	70リントン-イン7@4905×2 エビ用紙¥407
制作費	30,240円	30,240円	0円	紙リボン@108×50 画用紙@108×50 カラーペン@108×40 フェルト@108×100 PP7-7°@324×10 A4711L@108×10
交通費	50,000円	50,000円	0円	ガソリン代 ¥5,000 × 10
支出合計	288,045円	288,045円	100,000円	

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

<p>① 団体名</p> <p>② 所在地</p> <p>③ 代表者名</p> <p>④ 設立年月</p>	<p>平塚市市民活動推進委員会</p> <p>平塚市 100人クラブ</p> <p>平塚市 札幌町</p> <p>田中 純夫</p> <p>2012 年 9 月 法人格取得年月 年 月</p>												
<p>⑤ ホームページ</p> <p>⑥ 設立目的・経緯</p> <p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>	<p>http://hinatsuki100ninclub.com</p> <p>平塚の課題は何かを解決する為に活動のつながりが弱いため。平塚 100人クラブは平塚を活躍する市民の力を繋ぐ場をつくりたい。コミュニティを活性化させる事を目的として活動を進めていきたくて設立した。</p>												
<p>⑦ 活動の概要・実績</p> <p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>	<p>毎月1回イベントの開催</p> <p>平成30年度2回実施延参加者136名(平成31年1月末現在)</p> <p>イベントには5人ゲストに講師を1人たき その他の時間は参加者同士がつながる場とする。</p>												
<p>⑧ 過去に受けた助成等の実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容								
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容										
<p>⑨ 年度に受ける予定の助成等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容								
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容										

⑩ 会員数	個人	法人	団体	
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所	
	①	会長	田中 純氏	平塚市礼場町
	②		池 園子	平塚市幸田縄
	③		後藤 佳子	平塚市大塚町西小磯
	④		中川 真美恵	平塚市新原
	⑤		新 鏡	平塚市礼場町
	⑥			
	⑦			
	⑧			
	⑨			
⑩				

活動に携わるメンバーを記入してください。
10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。

2 補助申請の内容

① 事業名	平塚 100人カイキ
② 申請コース	入門コース・ 発展コース 【申請額：入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内】
③ 申請額	10万円（入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内）

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	平塚 100人カイキで 実現したいこと。
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	<ol style="list-style-type: none"> 「平塚人材の新しい交流を生み出す」 「市外から平塚に来る人へ交流をつくる」 「学生に合わせた大人、多様な生き方があることを知る」 <p>この3点を通して平塚をより元気にしていきます。</p>

② 事業の内容

①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。

事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。

※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。

平塚100人カイジは 平塚にまつわる 方が 5名から

謙和 心をかく会を 毎月 開催します。

1. 車いすの 登壇者 は 話を して いただくこと。

今まで 試会 3回 なの かな た っ な かり が 生まれる

2. 100人カイジを 都内で 始めた フォーラムを

活用すること。 市外から 人を 呼んで 読書を する

3. 学生 (高校生以下) 無料にする こと。

学生が 授業が 来たら、 環境作りをする。

③ 事業の計画

活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。

カイジ 1015 以降 (7月21日(金)開始)

Vol	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
開催日	4/14	5/	6/	7/	8/	9/	10/	11/	12/	2020 1/	2/	3/
新市民 認知 セミナー	55分 先住者: 1倍	平塚	中	中	倉工 食館	中	平塚 3分	中	中	梅原路 食館A	中	中
人数	64	200	70	66	66	200	66	100	64	100	64	64
場所 会場	113-3 新					113-3 新		梅原 道子		214区		

④ 期待される

効果

活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。

平塚市民には、よりより街 平塚を知、ともする。

市外の 人には 住みやすい 街 平塚 であることを 知、ともする。

そのほか 機会を 作る ことにより、 人か つ な かり、 元気な 平塚を 継続させ、 新しい 活動 体 を 住み 出し していく。

⑤ 協力団体等

活動・事業に協力される人、団体を記入してください。

NPO 法人 未来 経験 プラザ 外

フーズ& ステップ

タウンニュース (調整中)

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務員記入欄 発表コース補助割合確定表 二

項目	金額	具体的内容（税算科目等）
① 補助金	700,000 円	平塚市市民活動推進補助金
参加費	510,000 円	参加費 × 人数 × 12回 (50円/人)
収入	700,000 円	
支出	610,000 円	参加費 × 人数 × 12回
収入合計	700,000 円	補助金の申請限度額
② 支出	610,000 円	事務局費 100,000 円 広報費 100,000 円 講師謝金 100,000 円 教材費 100,000 円 印刷費 100,000 円 雑費 100,000 円
支出合計	610,000 円	280,000 円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

⑩ 会員数	平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市		
⑪ 活動体制	総務室	平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市 平塚市	
	1.会長	宮川 船	平塚市大東誠通
	2.副会長	石井 隆雄	平塚市磯浜町
	3.幹事長	山崎 浩一	磯浜町大東誠通
	4.副幹事長	山崎 浩一	磯浜町大東誠通
	5.事務局長	野崎 善博	平塚市磯浜町
	6.	石井 隆雄	平塚市磯浜町
	7.	宮川 船	平塚市黒部丘
	8.	木村 幸子	平塚市磯浜町

足跡に残るメンバーを記入してください。
10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。

2 補助申請の内容

① 事業名	レッツ防災119、 レッツ防犯110
② 申請コース	○入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	10万円(入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

【申請額は1万円単位。発展コースは事業費に対する達成割合の差を有し、11月9日8,200円(税込)・11月10日8,200円(税込)】

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>少子高齢化の進展の中、防火意識、防犯意識の希薄化が懸念されます。そこで、子どもや高齢者に対し、新しく考案したCDによる言葉（歌詞）や振付けされた踊りを通じて、119番や110番に親しみを感じてもらい、多くの方に防火意識や防犯意識の向上を図ることが重要です。そのためにも、地域の中で、だれでもが手軽に参加できる市民活動が必要と考えました。</p> <p>まず、2019年度は、「レッツ防災119」のCDや踊りを確定して作成。各地区で開催される盆踊りや市民まつり、防災まつり、等に参加をし、参加者や地域の方に防火意識の向上を図ることを目的とする。</p> <p>次のステップとして、レッツ防犯110番のCDの作成や踊りの振付けを考案して、各地区での防犯意識を高める事を目的とします。</p> <p>これらを通して、平塚市の安心・安全なまちづくりの推進に役立ちたいと考えています。</p>
---------	--

「なぜ、この事業を実施したいのか？」
「どんな課題を改善したいのか？」
「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」
などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。

<p>② 事業の内容</p> <p>活動の目的等について記入し、必要事項を記入していただく。</p> <p>事業の先鋭性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、何かがよく記入してください。</p> <p>※ 発案コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるよう記入してください。</p>	<p>1、CD（学童）</p> <p>平塚市に在住する学童を対象に、CD（学童）の活動を推進する。市内の各地区にCD（学童）を創設し、活動の推進を図る。</p> <p>★CDの創設に際しては、指導員としての地域住民、CDの運営費の確保。</p> <p>2、踊り指導員</p> <p>平塚市で、高齢者や高齢者に親しみやすい、を考案する。市内の各地区に指導員を養成するため、踊り指導員の育成を図り、地域での活動の推進を図る。</p> <p>3、CDの発案と推進に関する奨励金</p> <p>奨励金の申請、各地区で実施される。CDの推進が大きな地区については、市庁舎に代表者として、CDの推進意識を高めるための活動を行う。</p> <p>★CDの推進に際しては、指導員としての地域住民、CDの運営費の確保。</p> <p>4、教育委員会との連携（臨時編成）</p> <p>小学校や中学校の学習時間やイベントなどで音楽を介し、誘引・推進意識の向上を図る。CDの推進意識を高めるため、教育委員会と連携し、推進を図る。</p> <p>★今年度は、CDの推進を推進する。</p> <p>★CDの各学区への無償貸与をおこなう。そこで各学区の自主的な活動の推進を図る。CDの推進意識を高めるため、CDの推進意識を高める。</p> <p>5、CDの推進に際しては、指導員としての地域住民、CDの運営費の確保。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>1、地域活動の推進計画</p> <p>7月 ～ までして大盆踊り大会参加、他地区の盆踊り大会参加</p> <p>8月 ～ までして大盆踊り大会参加、他地区の盆踊り大会参加</p> <p>★盆踊り会場は、やぐらが設置されている地区が対象</p> <p>7月上旬 ～ までして盆踊り大会参加、8月上旬 ～ までして盆踊り大会参加</p> <p>★今年度は、盆踊りの指導員を増員して、対象地区を増やす</p> <p>10月 ～ 平塚市消防フェスティバルへ参加、他地区への参加</p> <p>3月 ～ 平塚市スポーツフェスティバルへ参加</p> <p>2、踊り指導員の育成、指導</p> <p>市内の各地域で広く活動できるようにするため、踊り指導員を育成する。</p> <p>■上記の推進計画は来年の新年度の体制もあり、確定した計画ではないが、実行予定計画案です。</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業の実施により、地域（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>平塚市は持続可能なまちを目指していますが、とりわけ、安心・安全に暮らせるまちづくりは重要なテーマです。そこで、レッツ防災に取り組むことにより、防災の防災意識や災害の対応意識などの啓発促進に寄与すると考えられます。</p> <p>また、平塚市は犯罪も多く怖いまちとのイメージがあります。不審者から児童をまもるためには、レッツ防犯に取り組む、CD や踊りで防犯意識向上の活動を展開すれば、防犯意識が向上し、軽犯罪認知件数を減少させる効果も期待できます。平塚市の安心・安全が少しでも進めばと考えます。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>日本郵政（協賛） 平塚市消防署（平成30年度、連携済、今後も連携予定）</p> <p>以下の団体とは、連携を予定しています。できるだけ早く協議予定。 平塚警察署（レッツ防犯110のCD及び踊りの振付けができれば折衝） 教育委員会 女性防災クラブ平塚パローズ</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

項目	金額	具体的な内容（配当根拠等）
収入		
補助金	100,000円	ア寮西市民活動助成金補助金（入財型）
参加費	70,000円	参加費（役員名×3万円）
収入合計	170,000円	発展コース：対象経費
支出		
事業費		100,000円
消耗品	18,200円	印刷代費8,500円、出張代費、ア寮西民協47,000円
物品購入費	60,000円	備品（パソコン）47,000円、60,000円×10名
講師謝金	50,000円	音源作成・編集代25,000円
印刷費	30,800円	30,500円（ア寮西民協発行の心し制作者）15名、15,000円
通信・運搬費	4,000円	切手代、宅配便代
雑費・郵費	12,000円	8,000円（300円×10名×4冊）
支出合計	170,000円	100,000円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうちの補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	入門コース6
受付月日	平成31年2月13日

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) キヨタマキョウシキョウケン イシンカイ 八幡郷土史編纂委員会			
② 所在地	平塚市西八幡			
③ 代表者名	嶋崎 光			
④ 設立年月	平成23年5月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	八幡小学校課外授業の一環で、八幡の歴史を児童に教える事となりましたが、八幡の歴史に関する資料が全く無く、当時の八幡地区自治会連合会の定例会の場で資料整備のための懇話委員会を設置を提案し、商場一徹で承認されました。それから現在に至るまで、八幡地区の住宅建設は続き、新たに当地区に入居される方が主に20代～40代に八幡の歴史を理解頂き、その子供達にも伝えて新たな街作りに一助となる事を目的としております。			
⑦ 活動の概要・実績	<p>平成24年から平成27年まで、毎年「八幡の郷土史第1刊」から各年度に1刊づつ八幡の郷土史計4刊を発刊</p> <p>平成23年以降毎年1月～2月に八幡小学校3年生の児童を対象とした課外授業を開催（平成23年度のみ4年生の児童が対象）毎年参加児童から礼状が届いています。</p> <p>平成25年には、地元の方を対象に平塚市博物館館長の土井 浩氏を講師に招き講演会（平塚八幡100年史）を開催</p> <p>平成28年5月に、川島書籍社新社殿発刊の冊子を編纂</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	八幡地区自治会連合会	27/5	5万円	郷土史発刊準備費用
	同上	28/5	5万円	郷土史発刊準備費用
	同上	29/5	5万円	郷土史発刊準備費用
	同上	30/5	4万円	郷土史発刊準備費用
⑨ 31年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	八幡地区自治会連合会	31/5	4万円	郷土史発刊準備費用

⑩ 会員数	個人 = 10人 (うち平塚市支 10人) 団体 = 0団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	① 会長	嶋崎 光	平塚市西八幡
	② 副会長	岩原 裕	平塚市東八幡
	③ 会計監査	平野 忠弘	平塚市西八幡
	④ 会計	馬場 守	平塚市西八幡
	⑤	宮川 利男	平塚市西八幡
	⑥	原田 勝治	平塚市東八幡
	⑦	高梨 祐治	平塚市西八幡
	⑧	藤澤 龍一	平塚市東八幡
	⑨	二見 章	平塚市西八幡
	⑩	吉村 哲朗	平塚市西八幡

2 補助申請の内容

① 事業名	八幡郷土史集大成版の作成準備
② 申請コース	(以下のコースから1つを選択してください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有り(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	今まで発刊した計4刊の見直し追加項目等を入れ1冊の本として、発行したい。特にこの地域にお住まいの高齢者の方々に戦争体験や昔の暮らしなどのお話をお聞きし、それ等を纏め後世に伝えていきたい。
「なぜ、この事業を実施したいのか？」	八幡に特化した歴史書(又は類する書籍)が無いので、八幡にお住まいの長老達がお元気の内に読んで頂きたい。又間違いがあればご指摘頂きたい。
「どんな課題を改善したいのか？」	この本を読んで、八幡の歴史が判り郷土愛を持って頂きたい。
「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」	近年この八幡には、戸建て住宅が続々建設され移り住んだ、主に20代~40代の若いご夫婦に八幡の歴史を良く理解して頂き、それを子供達に伝えてほしい。
などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	八幡に住むお年寄りが過去を思い出し、懐かしむ(昔あった商店や事業所等)又、古くからこの地に伝わる“格言”等も網羅して、先人の知恵も伝えていきたい。

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>① 郷土史の改編、編纂活動 毎週1回定例会を開催し、郷土史の改編・編纂活動を行う。また、町民有志の有志会を設立する。</p> <p>② 地域住民への啓発活動 末期の重点課題として、調査・検討を行う。具体的には、年1回程度はお年寄りや若い世代を対象に自治会館に於ける「郷土史発表会(仮称)」を開催する予定。10月頃は80名程度で八幡公民館で行う。恐らく来年夏に、今年度は2月と6月の八幡小学校3年生の児童を対象とした課外授業を中心とする予定と検討中である。八幡小学校3年生の課外授業は“八幡の歴史”の資料に基づき、神社(八幡神社)で“奉水”の儀式や、神社拝堂に於ける本宮への参拝、“仲興殿”での神輿の御用等多岐にわたる予定。</p> <p>③ 町いき情報局への参加 郷土史の資料を定期的に更新し、ネット上で見られる様にする。関係者(八幡公民館主任、八幡公民館教員)と相談の上、出来れば来期中に第1回の資料公開(仮称“八幡の歴史”)を行う。第1回資料公開の後は、ネット上での1回程度を目標に資料公開を行いたい。サイト上の容量、読むと時間等を考慮しながら進んでいきたい。</p> <p>上記が本誌を行って行く事で、近未来に“集大成本”が完成されてゆくものと期待します。是非“紙の本”として読む、多くの人に各戸配布したい(約3,000部)と思っております。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p> <p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>① 郷土史の改編、編纂活動 毎週水曜日の午後から夕方まで、会員が集い新たな資料の分析、文言の修正、郷土史に掲載するテーマ、お話を伺える長老の人選、今後調査する項目等を概で話し合う。</p> <p>② 地域住民への啓発活動 以前、八幡小学校の教職員を対象に“八幡の歴史”の講義を行って欲しいとの要望が寄せられたが、学校に打診し実現する。(多くて20名程度)八幡小学校での出張講義(来年夏9月)</p> <p>③ 町いき情報局への参加 今まで、ネットの活用方法を殆どと議論してこなかったが、新たな展望が開けてきた。他、他地域で同様な活動を行っている団体とのネットを通じた交流(これは末期に入ったころ早々に行う予定)</p> <p>同じ土地に住む人々が共通の郷土史基盤の上で立ち寄り良い郷土作りに励んでいきたい。</p> <p>子供達と係る事で、地域を見る目が純粋となり色々な“何故”が生まれ、当方の知識も広がり愛着がわく。</p> <p>平塚の一つの地域ではあるが地域に特化した歴史書を作る事で、平塚市の歴史編纂の一助になれば良いと考えている。(この地域でしか判らない事項を多く網羅したい)</p> <p>我々が顔を一本仕事で、地域住民との触れ合いがもてる</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>八幡地区自治会連合会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認 〇

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	100,000円	平塚市市民活動推進補助金		
補助金	40,000円	八幡地区自治会連合会補助金		
会費	30,000円	3,000円/年 × 10人		
収入合計	170,000円	発展コース対象経費 円 〇 補助金申請明細金額 円 〇		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
食糧費	10,000円	0円	0円	食費が支出 食費計算表 1回200円 × 50回
光熱水費（冷膨費）	5,000円	5,000円	5,000円	冷膨費 1回300円 積算 50回
使用料	25,000円	25,000円	25,000円	八幡自治会館使用料 1回3,000円 × 50回
印刷製本費	130,000円	130,000円	70,000円	資料代 10冊 × 300 × 50回 方々 50冊 × 500 × 10冊 各10人分
支出合計	170,000円	160,000円	100,000円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書 (入門・発展コース)

1 申請団体概要

<p>① 団体名</p> <p>② 所在地</p> <p>③ 代表者名</p> <p>④ 設立年月</p> <p>⑤ ホームページ</p>	<p>ほほのこすの青少年育成会(仮称)</p> <p>〒250-0311 神奈川県平塚市</p> <p>加藤 裕子</p> <p>2013 年 1 月 (法人格取得年月 年 月)</p> <p>http://hoyokoku.maizi.jp/online/</p>																				
<p>⑥ 設立目的 ・経緯</p> <p>⑦ 活動の概要・実績</p>	<p>この会は、ほのこすの青少年育成会(仮称)の発起・準備として、平塚市、中井町、宮内町の有志者が中心となり、ほのこすの青少年育成会(仮称)の設立に向けて活動を開始した。活動の経緯は、ホームページに掲載されているので、この概要は省略する。</p> <p>また、この会は、ほのこすの青少年育成会(仮称)の発起・準備として、平塚市、中井町、宮内町の有志者が中心となり、ほのこすの青少年育成会(仮称)の設立に向けて活動を開始した。活動の経緯は、ホームページに掲載されているので、この概要は省略する。</p> <p>・ホノコスのテーブルゲームを活用したワークショップ(以下WS)を毎月3回開催、保育関係者にも出張WS開催、対象は3才～小学校低学年児童と保護者</p> <p>・ゲーム大会開催、各種地域イベントに参加、</p> <p>・視察及び指導者養成を兼ねた研修会の実施</p> <p>・WS参加人数…H29年度44回570人、H30年度(1月現在)40回351人 ゲーム大会及び地域イベントなど参加人数…H29年度6回約500人、 H30年度(1月現在)5回510人 研修会参加人数…H29年度9回41人、H30年度5回75人</p>																				
<p>⑧ 過去に受けた助成等の実績</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平塚市青少年育成市民基金</td> <td>H29.4</td> <td>300,000円</td> <td>各種費、印刷費など、児童たち</td> </tr> <tr> <td>平塚市青少年育成市民基金</td> <td>H30.4</td> <td>100,000円</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>ほのこす市民活動センター</td> <td>H29.4</td> <td>170,000円</td> <td>講師謝礼、物品購入費など</td> </tr> <tr> <td>ほのこす市民活動センター</td> <td>H30.4</td> <td>150,000円</td> <td>講師謝礼、物品購入費など</td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	平塚市青少年育成市民基金	H29.4	300,000円	各種費、印刷費など、児童たち	平塚市青少年育成市民基金	H30.4	100,000円	同上	ほのこす市民活動センター	H29.4	170,000円	講師謝礼、物品購入費など	ほのこす市民活動センター	H30.4	150,000円	講師謝礼、物品購入費など
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容																		
平塚市青少年育成市民基金	H29.4	300,000円	各種費、印刷費など、児童たち																		
平塚市青少年育成市民基金	H30.4	100,000円	同上																		
ほのこす市民活動センター	H29.4	170,000円	講師謝礼、物品購入費など																		
ほのこす市民活動センター	H30.4	150,000円	講師謝礼、物品購入費など																		
<p>⑨ 31年度に受ける予定の助成等</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平塚市民活動推進補助金</td> <td>H31.4</td> <td>500,000円</td> <td>講師謝礼、印刷費など</td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	平塚市民活動推進補助金	H31.4	500,000円	講師謝礼、印刷費など												
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容																		
平塚市民活動推進補助金	H31.4	500,000円	講師謝礼、印刷費など																		

⑩ 会員数	10名		
⑪ 活動体制	役員名	役職	所属
	代表	湯川 操	東海大学
	副代表	柳川 喜和子	三政舎明春野
	活動推進員	岡野 文浩	横浜市磯田区日野南
		桂澤 友子	白塚市車上屋
		小宮 万由子	中郡二ツ井山西
		小山 明子	高尾市見沼町
		菅野 真由	白塚市西宮

2 補助申請の内容

① 事業名	博士結核菌子一人の啓蒙活動の普及・軽減・回復事業
② 申請コース	入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	50万円（入門コース10万円以内・発展コース10万円以内）

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>子どもたちの成長、自立、親や仲間と安心に入ることが出来る環境構築を大人も子ども専門員が担うから、その意味を正しく認識する視覚的な「理解」を活動で増やし、増えたい。親自らの体験を思い、子どもたちの普及活動に人間関係の基盤作り、読書や本字控帳学習の諸問題を解決、思春期以降の不安定を引いてその要因を分析する。成長期の学習支援は、日常生活が本格化する幼児・学童期、のちには「薄」である「行政の支援」をい、この時期の成長を支援する。心の諸問題の予防と軽減に努める。</p> <p>具体的には、親子が互いの認識力、コミュニケーション力が取らねばならない。仲間が互いの成長する「有識者が推進する」活動プログラムを計画上、読書心理士の協力による心理教育的プログラムの導入が「心の育成」WSを提供する。</p> <p>活動趣旨の普及と展開のために、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ゲーム大会開催 ② 各種イベント参加及び活動練習を普及するがための見聞訪問 ③ 登壇や指導者養成研修会開催、個別相談・対話の充実 ④ 無料体験WS
---------	--

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

✓

品目	金額	品目	金額
補助金	3,000,000円	手数料	0円
委託料	0円	印刷費	0円
雑費	0円	事務用品	0円
入	3,000,000円	出	0円
合計	3,000,000円	合計	0円

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース2
受付月日	平成31年2月7日

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) エヌパイオウハウジン クラシツナガルモリサトカワウミ NPO 法人 暮らし・つながる森里川海				
② 団体の所在地	平塚市見附町				
③ 代表者名	理事長 白井勝之				
④ 設立年月	2001年4月 (法人格取得年月 2017年5月)				
⑤ ホームページ	https://shonanikimonogakkou.wordpress.com				
⑥ 設立目的・経緯	2001年4月、行政との協働活動により「自然の遊び場 馬入水辺の楽校」を開校した。馬入水辺の楽校の会として、長年活動してきたが、組織力を強化しようと、2017年5月にNPO法人化した。地域の自然環境の保全活動を基軸に「子どもの時は子どもする」を合言葉に、多様な学習活動を展開している。				
⑦ 活動の概要・実績	<p>馬入水辺の楽校を基軸に、川の自然楽校やヤギ島探検ツアー、カヤネズミの生息地保全活動、素敵な原っぱづくり、おもちゃ広場（木育活動）など、年間60回余りの活動を展開している。生物多様性の保全を図るため、トンボの棲む街づくり運動やウナギの棲む川づくり運動、相模川のいい川づくりに取り組んでいる。消費者参加型農業に取り組むとともに、里山をよみがえらせる会と連携し、子どもが遊び、学習できる里山環境の保全活動にも力を入れている。</p> <p>■2017年度催し参加人数：1,468人 ■国土交通省 河川協力団体指定 ■褒賞：神奈川県ボランティア活動奨励賞（2015年）神奈川県ちきゅう環境賞（2017年）安藤スポーツ・食文化振興財団（トムソーヤー・スクール企画コンテスト努力賞 2016・2018年）神奈川新聞社地域社会事業賞（2017年度）生物多様性アクション大賞入賞（2017年）かながわ子ども・子育て支援奨励賞、平成29年度河川財団「川づくり団体部門」優秀成果賞</p>				
⑧ 過去に受けた助成等の実績	過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
		公益財団法人河川財団	2017	1,000,000	いい川づくり
		公益財団法人河川財団	2018	1,000,000	いい川づくり
		安藤スポーツ・食文化振興財団	2017	100,000	冒険体験・環境学習活動
		安藤スポーツ・食文化振興財団	2018	200,000	冒険体験・環境学習活動
		平塚市民活動ファンド	2017	200,000	組織基盤整備
		平塚市民活動ファンド	2018	140,000	発展コース
⑨ 30年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	
	公益財団法人河川財団（申請中）	2019	1,000,000	いい川づくり	

⑩ 会員数	個人＝93人（うち平塚市民41人） 団体＝1団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	①理事長	臼井勝之	平塚市見附町
	②副理事長	中村茂	平塚市天沼
	③理事	齋木正巳	秦野市鶴巻
	④理事	峯谷一好	平塚市袖が浜
	⑤理事	池澤光彦	平塚市宝町
	⑥理事	赤木亮	平塚市大神
	⑦理事	岩田定	寒川町岡田
	⑧監事	加藤幸子	平塚市八重咲町
	⑨運営委員	元石一雄	平塚市八重咲町

活動に携わるメンバーを記入してください。
10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。

2 助成申請の内容

① 活動・事業名	湘南いきもの楽校 プロジェクト 子どもが元気、いきもの元気、地域が元気
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 50万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 助成申請する活動・事業の内容

① 活動・事業の目的	<p>プロジェクト「子どもが元気、いきもの元気、地域が元気」</p> <p>(1) ワークショップ中学生・が考える環境に優しい生活(仮称) 環境保護活動、子どもたちの自立心の養成・自己肯定力のアップ</p> <p>(2) ひらつかおもちゃ広場の開設(木育活動)</p> <p>(3) ひらつか生き物がかり養成講座：川編(仮称) 川の自然と触れ合う、生物多様性保全活動</p> <p>(4) 子どもたちを対象にした自然と触れ合う環境学習活動</p> <p>(5) 上記活動を通じたネットワークづくり</p> <p>■社会的背景 日本の子どもたちは元気がありません。学力・体力・運動能力の低下、生活習慣病の増加、コミュニケーション能力の低下、不登校、いじめ、自殺等、極めて危険な状況に置かれています。自然離れも深刻です。子どもたちの生育環境の改善が必要です。環境悪化も進んでいます。ツバメやニホンミツバチなど身の回りに普通だった生き物が姿を減らしています。マイクロプラスチック汚染、地球温暖化等、先送りできない状況になっています。「みんな大きな地球家族の一員」をモットーに、人と自然が調和したまちづくり、子どもたちの笑顔が溢れるまちづくりを進めていきます。</p> <p>上記の課題を解決するためには、市民が自分ごととして取り組む展開方策が必要です。地域のコミュニティと密接にからみあった展開、人、モノ、資金、情報の共有化に裏打ちされた推進体制の構築を目指します。</p>
------------	--

「なぜ、この事業を実施したいのか？」
「どんな課題を改善したいのか？」
「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」
などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。

<p>② 事業の内容</p> <p>川の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>(1) 中学生・高校生が考える環境にやさしい生活</p> <p>①汚染の実態調査として、川のごみ拾いや海岸のマイクロプラスチック汚染を調査します。②川の生き物の現状を知ります(ウナギ調査)。③家庭内ごみ削減活動など、自分ごととして削減策を考え実践します。④啓発活動としてごみのフジジェブづくりや「筏(いかだ)」と「カヌー」で川を流し、プラごみを回収、プラごみゼロを訴えます。⑤活動の成果を桂川・相模川流域協議会シンポジウムで発表します。</p> <p>(2) ひらつかおもちや広場</p> <p>現在の取り組みをさらに発展させます。おもちや広場とアトラクションとのセットで定例開催します。アトラクションの内容:①人形劇とパペットづくり、②備前ウクレ教室、③スリットドラムづくり、④スリットドラムを使って「みんなのリズム」、⑤おんこ教室(2回)、⑥おもちやづくり教室(2回)、⑦マイ箸づくり(2回)、⑧五感を楽しくわが教室(2回)また、支援者の発掘とおもちやインストラクターを養成します。(おもちやインストラクター研修5名)</p> <p>(3) ワークショップひらつかSDGs作戦「ひらつか生き物がかり養成講座(仮称)」</p> <p>①川の自然と触れ合う取り組みとして、ウナギの保護活動に取組みます。ウナギの住処となる石倉カゴの設置やお魚調べを実施します。②おもちや水族館づくりを通じて、川の生き物と触れ合い(2回)、平塚市の「生物多様性アクションプラン」の展示会で「おもちや水族館」を展示し、川の生き物の保護を訴えます。</p> <p>(4) 子どもたちの自然離れを止めるため、多様な環境学習活動を展開します。</p> <p>①ヤギ島探検ツアー(馬入川の中州に渡る自然体験プログラム)、②川の自然楽校(マイウケカッパの使い方、魚取りを楽しめる)、③相模川カサガサ探検隊、④馬入水辺の楽校トング池再生活動、⑤相模川上流交流会(白梨での反りき間伐体験と魚取り)⑥カヌー&カサガサ魚取り、⑦平塚新港定置網見学と海のお魚調べ、⑧聞き虫とナイトハイク、⑨地べた観察とエコスタックづくり、⑩馬入水辺の楽校自然観察入門講座の開催</p> <p>(5) 上記取り組みを開催する中、地域のネットワーキングを進めます。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p> <p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>(1) 中学生・高校生が考える環境に優しい生活(仮称)参加:20名程度</p> <p>①汚染の実態調査(5月)、②ウナギ調査(6月)、③学生が考える家庭内ごみ削減プログラム(5~9月)④ごみのアート作りと筏で川清浄(8月)⑤成果発表(11月)</p> <p>(2) ひらつかおもちや広場の定例開催 参加:10~20名程度/各回</p> <p>(3) ワークショップひらつかSDGs作戦 参加:小中学生20名程度</p> <p>地域のNPO等と連携し、①ウナギの棲み川づくり運動に参加(ウナギの保護・調査活動)1回、②おもちや水族館づくりを2回実施し、発表します。</p> <p>(4) 子どもたちを対象にした多様な環境学習活動 参加:各回10~20名程度</p> <p>①ヤギ島探検ツアー(6月)、②川の自然楽校(8月)、③相模川カサガサ探検隊(6月)、④馬入水辺の楽校トング池再生活動(5~6月)、⑤相模川上流交流会(8月)⑥カヌー&カサガサ魚取り(7月)、⑦平塚新港定置網見学と海のお魚調べ(9月)、⑧聞き虫とナイトハイク(9月)、⑨地べた観察エコスタックづくり(10月)、⑩馬入水辺の楽校 自然観察入門講座(3月)</p> <p>(1) 中高生がプラごみの実態調査やごみ削減プログラムを考え、実行することにより、環境問題が自分ごとになる。ごみアートづくりやごみ拾いや後下りなどにより、ごみ削減運動が地域へ広がる。</p> <p>(2) ひらつかおもちや広場の定例開催により、木のおもちやの良さが伝わり、木育活動の進展につながる。理解者・支援者の獲得が図れる。</p> <p>(3) 絶滅危惧種ウナギ調査により、川の生き物の現状を知ると共に、生き物の住処づくりを通じて、生物多様性の保全が図れる。</p> <p>(4) 多様な環境学習活動により、自然と触れ合う楽しさを知り、環境保全に対する意識が高まる。</p> <p>(5) 上記の取り組みを通じて、環境視点のまちづくり運動の進展が図れる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>桂川・相模川流域協議会 茅ヶ崎市人形劇グループ「てててのて」 茅ヶ崎市どんぐりさんのおもちや広場(片山恵美子さん) 学校法人平塚学園(松風幼稚園、花水幼稚園、西奈野幼稚園) 神奈川県内水面試験場、東京環境工科専門学校 NPO 法人フュージョン長池、(株)ピオトープキルド 平塚市、神奈川県、国土交通省京浜河川事務所 ※平塚青年会議所(今後折衝)</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

具体的な内容（積算表参照）	
補助金	平塚市市民活動推進補助金
① 収入	<p>おもちゃ広場：子供10人×12回×300円=36,000円・ウクレレ教室：大人10×1回×2,000円=20,000円・五感を育むヨガ教室10人×2回×1,000円=20,000円 お魚調べ：20人×500円×3回=30,000円ヤギ島探検ツアー：1,500円×30人=45,000円 川の自然教室：1,000円×20人=20,000円 相模川ガサガサ探検隊：500円×10人=5,000円 トンボ池再生：100円×10人=1,000円 上下交流会：1,000円×20人=20,000円 定置網見学：100円×10人=1,000円 聞き虫とナイトハイク：100円×10人=1,000円 地べた観察：100円×10人=1,000円 自然観察入門講座：100円×10人=1,000円 カヌー体験1,000円×20人=20,000円</p>
自己資金	7,160円
収入合計	728,160円
② 支出	<p>発展コース：対象経費 728,160円×80% 582,528円 補助金申請書類郵送料5,600円</p>
項目	具体的内容（積算表参照）
謝金	<p>ウクレレ教室・みんなでリズム・パペットづくり (10,000円×3回=30,000円) 人形劇10,000円×1回=10,000円 川げんま講師10,000円×2回=20,000円 トンボ池づくり1回=20,000円 水族館2回=20,000円 漁港魚調査1回10,000円 ヤギ島探検・川の自然教室2回=40,000円 ガサガサ探検隊1回10,000円 定置網見学1回10,000円 聞き虫1回10,000円 地べた観察・自然観察入門講座2回=40,000円 カヌー体験看護班5,000円</p>
研修費	<p>おもちゃやインストラクター研修費 10,000円×5人=50,000円</p>
器具、消耗品、保険代	<p>ゴミアーク製作用レンタル溶接機5,000円、ゴミアーク制作資材3,000円、おたかり保険代30人×650円=19,500円 ウェルダ-3,190×30着=95,700円、おもちゃ購入(別紙)105,220円、マイ箸づくり装置18,102×2個=36,204円 トンボ池案内看板21,036円 チラシ印刷A4:3,000部 5,780円×3回=17,340円 タイヤチェーン3,600円×12個=43,200円、エアークンプレッシャー3,300円 カヌー体験保険代20,000円、レンタルトイレ10,000円</p>
交通費	<p>水族館づくり2回=10,000円 ヤギ島探検・川の自然教室・地べた観察・自然観察入門・トンボ池づくり (合計5,000円×5回=25,000円) 定置網見学 (11,660円)</p>
支出合計	<p>728,160円 ※上記費用の内、下線が補助金申請金額</p>

受付番号 発展コース3
 受付月日 平成31年2月8日

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) カベラニホンゴノカイ カベラ日本語の会															
② 所在地	平塚市松風町															
③ 代表者名	林田 雅之															
④ 設立年月	1992年 5月 (法人格取得年月 年 月)															
⑤ ホームページ	http://caviela.jimdo.com															
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	<p>【目的】本会は平塚および近隣のインドシナ難民定住者、外国籍市民等の日本語支援、学習支援、生活支援を行い、自立と共生を図ることを目的とする。</p> <p>【経緯】1992年に設立したカベラ日本語の会は、平塚市に住むインドシナ難民や日本語を母語としない市民が日本語がわからず、苦勞している現状を知り、日本語を教えることを通して生活上の困りごとの解決や生活の支援を含めて活動をスタートし現在に至る。</p>															
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	<p>日本語教室は受講しやすいよう、下記3か所で場所時間を変えて活動を行っている。日本語の授業はすべて無料で運営。開催場所は平塚市中央公民館（土曜日10時から11時半）、平塚市横内公民館（水曜日19時半から21時）、ひらつか市民活動センター（水曜日10時から12時）である。</p> <p>対象者は平塚市及び近隣に住む日本語を勉強したいと教室を訪れたすべての人を受け入れている。</p> <p>2017年度4月～3月までの日本語教室開催実績は126回210時間、受講者130人。2018年4月～9月までの実績は60回100.5時間 受講者123人。</p>															
⑧ 過去に受けた助成等の実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひらつか市民ファンド</td> <td>30年4月</td> <td>160,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉協議会補助金</td> <td>30年7月</td> <td>100,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	ひらつか市民ファンド	30年4月	160,000		社会福祉協議会補助金	30年7月	100,000				
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容													
ひらつか市民ファンド	30年4月	160,000														
社会福祉協議会補助金	30年7月	100,000														
⑨ 31年度に受ける予定の助成等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民活動推進補助金</td> <td>31年4月</td> <td>180,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉協議会補助金</td> <td>31年7月</td> <td>100,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	市民活動推進補助金	31年4月	180,000		社会福祉協議会補助金	31年7月	100,000				
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容													
市民活動推進補助金	31年4月	180,000														
社会福祉協議会補助金	31年7月	100,000														

⑩ 会員数	個人 = 28 人、うち平塚市民 25 人、団体 = 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	①代表	林田 裕之	平塚市松風町
	②会計	一杉 健一	平塚市代官町
	③書記	稲吉 実	平塚市志保町
	④横内世話人	道村 直恵	平塚市片岡
	⑤中央世話人	島澤 健一	平塚市唐ヶ原
	⑥活動の世話人	吉田 末利子	平塚市長持
	⑦会計監査	島澤 光代	平塚市東八幡
	⑧		
	⑨		
	⑩		

2 補助申請の内容

① 事業名	「ボランティアのための養成プログラム」作成と増える日本語を母語としない人への日本語を通じた支援の継続
② 申請コース	入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は、1万円単位、発展コースは事業費に對する成功割合の上限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 18万円(入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>平塚市には多くの日本語を母語としない市民がいる。カンボジア、ベトナム、ラオスからの難民の方、国際結婚で日本に来た方、仕事を求めて日本に来た方、技能実習生として来日した方、仕事で来日した方等様々である。</p> <p>そのためカベラ日本語の会に求められるニーズも多様化し増加している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生活をサポートする 2.子供や家族とのコミュニケーション 3.仕事を得るため、また仕事に必要な資格を取る 4.本国に帰って日系企業に就職するために日本語の資格を取得 5.日本での仕事に必要な <p>今年度は外国人労働者を受け入れる新制度、特定技能1号、2号が制定され、技能実習生や企業研修生も含め、外国人労働者が増え日本語を学習するニーズが高まる。一方でボランティアの不足や日本語支援レベルに差がある。2018年度ひらつか市民活動ファンドを利用し自前で養成するための「ボランティア養成プログラム」の試作テキストを作成してきた。</p> <p>2019年度は細部を検証しながらテキストを作成し完成させる。さらに2020年度にこのテキストを用い、ボランティア養成講座を開催したい。</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>A. <u>ボランティアのための養成プログラム作成</u></p> <p>(1) 目的・目標が平塚の特性である難民定住者、その家族、国際結婚で日本に来た人、仕事を求めて日本に来た人、技能実習生として来日した人等平塚に住む多くの学習者のニーズに対応する事。生活の場面で手助けになり、言葉の支援を含めた日本語支援で使える事。日本語学校にはないボランティアのためのプログラムテキストとする事。</p> <p>(2) 2018年度テキスト化を踏まえ毎月ミーティングを行い、外部講師にも内容を検証いただき原稿を作成し、試作テキスト(たたき台)を作成した。2019年度は初期の目的や方向性バランスを検証しながら細部の検討を月一回のミーティングで修正していき、「ボランティアのための養成プログラム」の編集データを完成させ、印刷製本を完成させる。完成したテキストは、平塚に密着した他に類を見ない「ボランティアのための支援プログラム」となり、一定のレベルかつ継続的な日本語支援が可能となり、事業自立の柱となる。</p> <p>(3) 2020年度はそのテキストを用いて実際ボランティア養成講座を開催予定。</p> <p>B. <u>増える外国人労働者の対応強化</u></p> <p>(1) 新制度の特定技能1号2号の日本語レベル、認定試験等の詳細について調査し、日本語支援に役立てる。</p> <p>(2) 新制度について企業の対応、技能実習生との兼ね合いを、企業側のニーズもリサーチし支援に役立てる。</p> <p>C. <u>日本語教室の継続と学習者のレベルに沿った日本語個別支援</u></p> <p>D. <u>イベントを通して学習者の教室間の連携、実践的な日本語や自然な日本語を学ぶ場の提供</u></p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>(1) <u>ボランティアのための養成プログラム作り</u></p> <p>1. 毎月の定例会においてボランティア養成プログラムたたき台のレビューミーティングを推進する 場所・日時：中央公民館 13:30~15:30 (毎月第3土曜日) 参加人数：12~14人 実施方法：ポストイットを使ったワイガヤミーティングでレビュー修正。</p> <p>2. 神奈川県立国際言語文化アカデミア坂内先生によるボランティア養成プログラム最終案へのアドバイス、意見交換。2回/年</p> <p>(2) <u>ボランティアのための養成プログラムのイラストレーターデータ完成と印刷製本</u> イラストレーター編集作成完成と印刷製本を外部に委託し完成する。</p> <p>(3) 新制度による特定技能1号、2号の調査 4月からスタートする新制度(特定技能1号2号)を調査する。</p> <p>(4) <u>日本語教室の継続</u> ○中央公民館(土) ○市民活動センター(水) ○横内公民館(水)</p> <p>(5) <u>イベントを通じて自然な日本語に触れ、国境を超えてコミュニケーションを図る</u> 1. ボーリング大会 12月 2. 列スラム会 12月</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>(1) ボランティアのための養成プログラムミーティングをすることで、ボランティア経験の短い人の研修となる。また支援方法のレベルアップが図れる。今回「ボランティアのための養成プログラム」が完成することで、ボランティアを自前で養成でき、活動の継続を図る原動力となる。</p> <p>(2) 学習者の日本語力向上により地域のコミュニケーション、理解が進みトラブルが減少し、住み良い地域になる。また孤立防止につながる。</p> <p>(3) 学習者が日本語能力試験に合格することで将来の夢の実現をサポートする。同時に日本語力が向上することで、日本のものづくりにも貢献する。</p> <p>(4) 多様な文化や価値を受け入れ、相互の成長を共に喜ぶ、共生社会の輪が平塚に根付く。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>・ かながわ難民定住援助協会 ・ 社会福祉協議会</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	180,000円	平塚市市民活動推進補助金		
会費	42,000円	会費 1500×28人=42000円		
補助金	16,200円	社会福祉協議会補助金の一部		
イベント参加費	28,000円	ボートが参加費 1000円×28人		
	円			
収入合計	266,200円	発展コース：対象経費 227,000円×80%＝181,600円 補助金申請限度額 180,000円		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
行状レポート作成編集費	69,000円	69,000円	69,000円	「行状レポート」の作成のための書籍購入（2社） 原稿の編集（1社） 行状発表会費用
印刷製本	101,000円	101,000円	101,000円	印刷製本費用 165冊 100冊
アトバイス費	10,000円	10,000円	10,000円	県立印刷言語文化アカデミー財団教授による指導 100冊×25人 16,000円
教材費	20,000円	20,000円	20,000円	「いづみ」を志望の書き方 1700冊、ゆきなから日本語学習誌改訂版 2500冊×7.99円＝19975円
教室活動費・定例会費	27,000円	27,000円	27,000円	資料代 10冊×1753枚、機常紙 15冊×300枚、求社付 390冊×10,190円×3
イベント費	39,200円			自然な日本語に触れよう 書籍を超過し、ボートが参加費 1000円×28人
	円	円	円	
支出合計	266,200円	227,000円	180,000円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ)ニドモガクシユウシエングループ スカノテラゴヤ 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋			
② 所在地	平塚市札幌町			
③ 代表者名	大野 文			
④ 設立年月	2016年 12 月 （法人格取得年月 年 月）			
⑤ ホームページ	http://sites.google.com/view/sukanoteragoya			
⑥ 設立目的・経緯	<p>近年、貧困や学力低下等の問題を抱える子どもの割合が増す中、本市に於いても本人や家族の事情により家庭学習が十分に行いづらく、学習塾等に通うことが困難な小中学生の割合が高まっている。そこで、社会を明るくする運動に関わるメンバーや元教員等、地域の有識者がボランティアで、自主学習に何かの問題を抱えている小中学生を対象に無料で学習支援を行い、学習の喜びと習慣を身につけ、学習意欲と学力向上を目指し、将来、犯罪や非行に陥ることのない青少年の健全な育成を目的とした活動を展開している。</p>			
<p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>				
⑦ 活動の概要・実績	<p>主な活動と開催回数、出席者の延べ数。30年度は4月～1月までの実績。</p> <p>1.毎月2回小学生対象の宿題支援…H29年度19回、小学生85名、支援員・見守り155名 H30年度17回、"125名、"178名</p> <p>2.毎月2回中学生対象の学習支援…H29年度21回、中学生362名、"339名 H30年度20回、"380名、"398名</p> <p>3.夏休みの宿題と理科実験教室…H29年度4回、小31名、中65名、支援員112名 H30年度小は4回、小52名、中は1回5名、支25名</p> <p>その他、中学生のための試験・受験対策教室、新中一になる小学生のための入学準備教室や、保護者からの相談対応、会員相互の研修・懇親会、広報活動など行った。</p>			
<p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>				
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	ひらつか市民活動ファンド	H29年4月	80,000円	入門コース
	ひらつか市民活動ファンド	H30年4月	140,000円	発展コース
⑨ 31年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	平塚市市民活動推進補助金	H31年4月	210,000円	教材費、講師謝礼費、他

⑩ 役員名簿			
副会長 渡辺 美穂 代表理事 渡辺 美穂 代表理事 渡辺 美穂			
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	① 会長	大野 文	平塚市札幌町
	② 副会長	小泉 和美	平塚市大神
	③ 会計	石原 祖子	平塚市平塚
	④ 総務	岡田 すみれ	平塚市葦平
	⑤ 総務	三谷 克美	平塚市袖ヶ浜
	⑥ 学習支援員	烏海 千昭	平塚市千石河岸
	⑦ 学習支援員	雨宮 恭基	平塚市高浜台
	⑧ 見守り支援員	竹原 麻子	平塚市袖ヶ浜
	⑨ 見守り支援員	横田 佐知子	平塚市高浜台
	⑩ 保護者	飯尾 美帆	平塚市夕陽ヶ丘

2 補助申請の内容

① 事業名	子どものための学習支援教室
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース○
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目 90%、2回目 80%、3回目 70%)】 21万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	家庭学習や自主学習に何らかの問題を抱えているために、学校で楽しく勉強できなかったり、通常授業について行かれなくなったりしている小中学生を対象に、放課後や長期休業等の時間に、宿題や授業の補習等をボランティアと楽しく学習することで、子どもたちの学習意欲と学力向上が図れ、学校生活を意欲的に送れるようになることを目指したい。
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	子どもたちの学習や見守りの支援には、市内在住在学在勤の若者や、定年退職後の元教員等の有識者がボランティアとしてあたり、家族や教員とは違った目線で子どもと触れ合うことで、自分の長所や可能性を発見し、認識できる機会も増え、自己肯定感や自尊心を高め、培うことも期待できる。 また、ボランティアメンバーの中には、高齢の協力者も少なくない。豊富な知識を子どもたちに提供していただき、セカンドライフの活躍の場としても期待できる。引きこもりがちな生活を送っている方々にも協力してもらい、社会との接点の一つになる場としても期待できる。

<p>②事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>1. 寺子屋 4. 夏休み宿題教室 5. 理科教室 6. 支援員のための研修</p> <p>2. 寺子屋 3. 夏休み宿題教室 4. 理科教室 5. 支援員のための研修</p> <p>3. 寺子屋 4. 夏休み宿題教室 5. 理科教室 6. 支援員のための研修</p> <p>4. 寺子屋 5. 支援員のための研修</p> <p>5. 支援員のための研修 ・小中学生担当支援員のために、学習支援に役立つ基礎的な研修を行う。 講師: しえんのまなび舎、他 ・運営に必要な知識を得るための研修会等へ参加。</p>
<p>③事業の計画</p> <p>活動・事業の目的、場所、実施方法、実施時期、参加者や協賛者等のほか、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>1. 小学生寺子屋（定員 10 名、場所: 大洋中学校・体育館会議室） 夏休みを除く毎月第二・第四木曜日、16:30～17:30、子どもに合わせた学習支援や美術鑑賞教室を行う。</p> <p>2. 小学生夏休み宿題教室（定員 15 名、場所: 大洋中学校・体育館会議室） 7～8 月に 1 回開催。平塚地区 BBS 会に講師を依頼する。広報活動。</p> <p>3. 理科教室（小学生定員 15 名、中学生定員 10 名、場所: 大洋中学校・体育館会議室） 8 月に 1 回開催。内容は講師と相談の上、決定。広報活動。</p> <p>4. 中学生寺子屋（定員 20 名、場所: 大洋中学校・体育館会議室） 毎月第二・第四木曜日、19:00～20:30、生徒の希望する教科の学習支援を行う。</p> <p>5. 支援員のための研修（対象: 10 名、場所: 大洋中学校・体育館会議室） ・対象は小中学生担当支援員。専門講師による基礎研修会を年 8 回不定期開催。寺子屋後反省会の時間帯、約 1 時間程度。 ・他団体主催の研修会等へ必要に応じて参加する。</p>
<p>④期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>寺子屋では、毎月 2 回開催することで、生徒が学習の仕方を学び、弱点の克服や学習習慣を身につけることができる。個々の子どもの特性に応じた支援により、学力の向上を期待できる。美術鑑賞やタブレット学習を取り入れて、飽きずに楽しく学習できる。 夏休みの宿題教室により、長期休み中でも学習のやる気や習慣を継続できる。理科教室では東海大学学院生により、地域の自然環境を実験や観察などの体験を通して楽しく学習することで、自然環境保全への興味を育てる。 支援員のための基礎研修会を行うことで、充実した学習支援活動を展開するスキルアップができる。 団体運営に必要な知識を学ぶことで、活動の充実と発展を目指すことができる。</p>
<p>⑤協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚市立大洋中学校 ・平塚地区更生保護女性会 ・平塚地区 BBS 会 ・平塚ライオンズクラブ ・NPO 法人せんしん ・NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク ・しえんのまなび舎 ・ひらつか子ども学習支援ネットワーク

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）	
① 収入			
補助金	210,000 円	平塚市市民活動推進補助金	
団体会計より	52,740 円	寄付金等	
	円		
	円		
	円		
収入合計	262,740 円	発展コース：対象経費 262,740 円 × 50% = 210,000 円 補助金の申請履歴参照 25.1.1.1.1.1	
② 支出			
事業費	うち対象経費 うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）	
教材費	92,000 円	70,000 円	学習ドリル等 7,000 円、 理科教材 25 セット 5,000 円、研修会資料 80,000 円 (82,000 × 40)
消耗品費	33,500 円	36,000 円	コピー用紙 5,000 枚 4,000 円、インク 4,500 円、トナー 8,000 円、 教材整理用品 10,000 円、文具 2,000 円、ワイヤレスバスケット 5,000 円
備品費	65,000 円	48,000 円	中古 PC またはタブレット 2 台 29,000 円、レンタル Wi-Fi 36,000 円 (1,500 × 24)
講師謝礼費(交通費を含む)	66,000 円	60,000 円	美術館ボランティア 3 回 9,000 円、NPO 法人東海大学地域環境研究クラブ 15,000 円 平塚地区 BBS 会 10,000 円、研修会 8 回 32,000 円 (4000 × 8)
旅費、交通費	6,240 円	2,000 円	理科教室打ち合わせ 平塚駅北口⇄東海大学前バス運賃往復 780 円 × 8 回
	円	円	
	円	円	
支出合計	262,740 円	210,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号 発展コース5
受付日 平成31年2月12日

31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

<p>① 団体名</p>	<p>(フリガナ) ひろばのかい ひろばの会</p>											
<p>② 所在地</p>	<p>秦野市堀山下</p>											
<p>③ 代表者名</p>	<p>山田真美子</p>											
<p>④ 設立年月</p>	<p>1979 年 12 月 (法人格取得年月 年 月)</p>											
<p>⑤ ホームページ</p>	<p>http://</p>											
<p>⑥ 設立目的・経緯</p> <p>団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。</p>	<p>1979年5月、平塚駅西口は場外男湯等の娯楽施設面が盛頓になった。当時教育環境の悪化を懸念した主に母親達が反対の署名活動をして自鉄撤回となった。その後この運動に関わった有志が「学習の会」としての「平塚母親の会」を同年の12月に発足させ、1996年「ひろばの会」と改名。現在に至る。当初より「学習」と「コミュニケーション」の2本柱の形態は変わらな。月刊会報紙「ひろば」は市民の寄稿文を掲載し、情報も伝えるコミュニケーションの媒体として役割を担っている。(1980年2月創刊)</p> <p>近年は以前行っていた「講演会」「定期学習会」から小規模で気軽に集まれる「ひろば・カフェ」(ミニ演奏会、お茶会、本の朗読会など)や「読書会」を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年 8月19日(土)、11月18日(土) 午前 延参加者 18名 ・2018年 3月10日(土)、6月16日(土) 10月20日(土) 午前 26名 <p>数年前から「ひろば」の編集を一斉メールで行うようになった。この方法は画期的で情報が瞬時に届き、家に居ながらにして編集作業に関われるというメリットを生んだ。具体的な効果としては複数のチェックでミスが少なくなった事とメール編集会議により実際の会議に出席できない人の意見も反映する結果「ひろば」の質の向上にも繋がった</p>											
<p>⑦ 活動の概要・実績</p> <p>過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。</p>	<p>近年は以前行っていた「講演会」「定期学習会」から小規模で気軽に集まれる「ひろば・カフェ」(ミニ演奏会、お茶会、本の朗読会など)や「読書会」を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年 8月19日(土)、11月18日(土) 午前 延参加者 18名 ・2018年 3月10日(土)、6月16日(土) 10月20日(土) 午前 26名 <p>数年前から「ひろば」の編集を一斉メールで行うようになった。この方法は画期的で情報が瞬時に届き、家に居ながらにして編集作業に関われるというメリットを生んだ。具体的な効果としては複数のチェックでミスが少なくなった事とメール編集会議により実際の会議に出席できない人の意見も反映する結果「ひろば」の質の向上にも繋がった</p>											
<p>⑧ 過去に受けた助成等の実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平塚市男女共同参画課</td> <td>2009.9.</td> <td>20,000</td> <td>創立30周年記念事業 作家・窪島誠一郎氏講演会</td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容	平塚市男女共同参画課	2009.9.	20,000	創立30周年記念事業 作家・窪島誠一郎氏講演会			
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容									
平塚市男女共同参画課	2009.9.	20,000	創立30周年記念事業 作家・窪島誠一郎氏講演会									
<p>⑨ 31年度に受ける予定の助成等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容							
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容									

⑩ 会員数	個人 82 人（うち平塚市民 56 人） 団体 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	① 会長	山田真美子	秦野市堀山下
	② 事務局	仲秋ふさ子	平塚市御殿
	③ 発送	高橋 南	平塚市御殿
	④ 編集	石井昭枝	平塚市明石町
	⑤ 編集	小黒立子	平塚市豊田打間木
	⑥ 編集	小野しづか	大磯町白神台
	⑦ 編集	佐藤水音子	平塚市河内
	⑧ 編集	星賀典子	平塚市御殿
	⑨ 編集	森本承子	平塚市御殿
	⑩		

2 補助申請の内容

① 事業名	ひろばの会 創立 40 周年記念 講演・上映・交流—
② 申請コース	(以下の中から1つのコースを1つ選択してください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の上限を1割引きの2万円8000円以内】 11 万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>昨年暮れにDVD「カンタ！ティモール」をスタッフを中心に会員十数名が試写した。その後の感想で「この映画を広めたい」が波紋のように拡がり「40周年記念企画」に繋がった。</p> <p>ひろばの会 40年史を振り返った時「平和」「教育」「人権」について学んできたことがこの映画によって更に深まることを期待する。またこのイベントでより多くの市民活動団体や個人に「広めたい」内容でもあるため、このことをきっかけに継続した交流をしていきたい。</p> <p>会報誌「ひろば」について 毎月 200 部印刷。主に図書館、ひらつか活動センター、男女共同参画課登録団体（30 部）への配布は欠かさず行っている。</p> <p>図書館には市民活動の記録として創刊号からの「ひろば」を閲覧できるので「研究」に役立ったという意見も聞く。</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p>② 事業の内容</p> <p>この事業の目的で記入した内容を心まえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>創立40周年を迎え「総仕上げ」になり「周りを動かす」を自負。このことを会員と共に祝い、その意義を広く外部にも伝えたいとの思いで下記のイベントを開催する。</p> <p>4月29日 当会の創立当初より学習会、講演会の講師を務めて下さっている大森典子弁護士 の講演。大森弁護士は「ひろば35周年記念号」(2014年12月)で「・・・民主主義を様々な場面で実践して来たこの「ひろばの会」のような結びつきを、全国の町で村で人びとの繋がりをつくることが今こそ求められている。」と記している。今回は現在の社会情勢を踏まえ市民活動の意味や今後求められることは何かについて伺う。 講演後に参加者と意見交換、交流会。</p> <p>4月30日 映画「カンタ！ティモール」鑑賞。1975年インドネシア軍侵攻から27年間の戦争を経て勝利し、独立を勝ち取った東ティモール国のドキュメンタリー映画である。この戦争に日本が深く関わっていたこと。そして戦争で負傷した敵国兵士に手厚く治療して本国に帰すという行為や「恨み」を連鎖させない教えを実践している「平和主義」に学ぶ。 上映後愛知県より広田奈津子監督を招き講演。 講演後に参加者と意見交換、交流会。</p> <p>* 今回のイベントでの新たな出会いや発見、発想を他団体と連携しながら「ひろば・カフェ」「読書会」の場を活用し、展開していく。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受給者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>場所：4月29日、30日「ひらつか市民活動センター」 時間：4月29日午前 会場準備 午後13時から16時30分 講演、交流会 ：4月30日午前9時30分から12時10分上映会 午後13時から16時30分 講演 交流会</p> <p>お知らせ・宣伝 2月20日までにチラシ作成 2月21日～・2月号「ひろば」発送時にチラシ同封（会員対象） ・（会員外対象）①公の施設にチラシを壁に貼る、置いてもらう。 ②事前に「配布先」を調査（リスト作成）、郵送、手渡しその他を行う。</p> <p>参加者募集 チラシに詳細を記し、事前申し込みとする。定員60名（各回）</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>効果は短期的、長期的に期待可能。前者は一歩踏み出すこと。後者はそれを継続することで効果は得られると考えられる。</p> <p>当会が創立時から1度の休刊もなく発行を続ける「ひろば」には伝えることの他に「繋げる」ことも担って来た。今回その具体的な効果を期待するものに、30日に行う「上映会」がある。この映画は関西で火が付き、最近徐々に関東に飛び火状態にある。（近場では茅ヶ崎、二宮での上映がこの企画前に行われる）それぞれの団体のやり方で催しの形は違うが当会では他では行っていない（上記に限ってみても）監督を招くにある。注目度は高いと思われる。 またこの機会に当会の入会募集も行いたい。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>・「平和を語り継ぐ会」・「女性史に学ぶ会」他</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
① 収入				
補助金	110,000円	平塚市市民活動推進補助金		
参加費	60,000円	29日講演会 500円×60人=30,000円 30日上映会 500円×60人=30,000円		
	円			
	円			
	円			
収入合計	170,000円	発展コース：対象経費 170,000円×90%=153,000円 補助金の申請限度額 150,000円		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
講師謝金	80,000円	80,000円	80,000円	大森典子弁護士(50,000)広田奈津子映画監督(30,000) 合計80,000
講師旅費交通費	25,000円	25,000円	25,000円	大森弁護士町田往復 5,000 広田監督愛知県往復 20,000 (タクシー含む)
消耗品	4,256円	4,256円	0円	事務用品（ボールペン、ファイル、コピー用紙、ひろば増刷紙代）
印刷	2,600円	2,600円	1,000円	資料5枚×150人(3回分) 900円・原紙500円ひろば4月号増刷200部×1200
通信運搬費	12,144円	12,144円	3,000円	切手代(会員、非会員、他団体) 92円×132人 12,144円
生花	16,000円	16,000円	0円	演台に飾る 参加費から支出
著作権料	30,000円	30,000円	0円	上映会映画著作権料 30,000円 参加費から支出
支出合計	170,000円	170,000円	110,000円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	かなホシクラブ											
② 所在地	平塚市日向町											
③ 代表者名	代表者 代表者 代表者											
④ 設立年月	平成29年 11 月	(法人格取得年月)	年 月									
⑤ ホームページ	http://											
⑥ 設立目的・経緯	<p>日向町自治会が、既に「かなホシ」という自治会系市民クラブが存在していた。一方は高齢者を対象とした活動であった。そこで多世代をメインに若年層を対象としたイベントの企画・運営を担う人が必要となり平成29年10月かなホシクラブの中間委員会を執行委員を基として開催した。これをきっかけ、今の実行委員で構成した。子供達も参加し、多世代との交流を通じて自治会を念めた地域の活性化を狙ったクラブとして発足した。</p> <p>クラブの活動のメインは、</p>											
⑦ 活動の概要・実績	<p>1. 夏祭り開催時、クリスマススタの企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月夏祭りには出陣、10月クリスマススタ開催し多世代と交流 <p>2. 地域による伝統文化の継承と、自治会行事の盛り上げ、他自治会との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月夏祭り、神輿巡行、1月、7月と公明、神宮河の例大祭で交流 <p>3. 日向町のキックスタートの企画、企画を企画した。自治会行事の盛り上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月 夏祭り、10月旭北地区レク、10月 キリストブスタ ・2019/1月 どんと焼き、2019/2月 学童通学見守りに出陣。 <table border="1" data-bbox="411 1630 1449 1664"> <thead> <tr> <th>助成等制度名</th> <th>助成年月</th> <th>助成金額</th> <th>助成内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容				
助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容									
⑧ 過去に受けた助成等の実績												
⑨ 年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容								

⑩ 会員数	西ノ郷地区自治会連合会(西ノ郷地区) 10 団体 団体																																
⑪ 活動体制	<p>活動内容</p> <p>活動場所</p> <p>活動時間</p> <p>活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、多数メンバーを記入してください。</p> <table border="1"> <tr><td>代表者</td><td>佐藤 隆子</td><td>副代表</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>幹事</td><td>佐藤 隆子</td><td>幹事</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>会計</td><td>佐藤 隆子</td><td>会計</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>庶務</td><td>佐藤 隆子</td><td>庶務</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>広報</td><td>佐藤 隆子</td><td>広報</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>総務</td><td>佐藤 隆子</td><td>総務</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>文書</td><td>佐藤 隆子</td><td>文書</td><td>佐藤 隆子</td></tr> <tr><td>その他</td><td>佐藤 隆子</td><td>その他</td><td>佐藤 隆子</td></tr> </table>	代表者	佐藤 隆子	副代表	佐藤 隆子	幹事	佐藤 隆子	幹事	佐藤 隆子	会計	佐藤 隆子	会計	佐藤 隆子	庶務	佐藤 隆子	庶務	佐藤 隆子	広報	佐藤 隆子	広報	佐藤 隆子	総務	佐藤 隆子	総務	佐藤 隆子	文書	佐藤 隆子	文書	佐藤 隆子	その他	佐藤 隆子	その他	佐藤 隆子
代表者	佐藤 隆子	副代表	佐藤 隆子																														
幹事	佐藤 隆子	幹事	佐藤 隆子																														
会計	佐藤 隆子	会計	佐藤 隆子																														
庶務	佐藤 隆子	庶務	佐藤 隆子																														
広報	佐藤 隆子	広報	佐藤 隆子																														
総務	佐藤 隆子	総務	佐藤 隆子																														
文書	佐藤 隆子	文書	佐藤 隆子																														
その他	佐藤 隆子	その他	佐藤 隆子																														

2 補助申請の内容

① 事業名	自治会連合会(西ノ郷地区)の地域づくり活動
② 申請コース	入門コース ・ 標準コース
③ 申請額	【標準コース(標準コース)の補助額(補助率)は申請額(標準コース)の50%以内(50%)】 50 万円(標準コース(標準コース)の補助額(補助率)は申請額(標準コース)の50%以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>3年前の自治会総会時は、選挙区も自治会に任意参加する人が多くきて、前年同様、多くの住民が参加して、活動を熱心に行う人が目立ち始め、空き家が増え、空き家対策も、自治会が役員を担う人を確保する機会を捉える世帯も増え、自治会が中心となり、集まる人が減り、元気を失った。元気を失った。元気を失った。</p> <p>そこで、1年前に実施した「西ノ郷地区の未来を創る会」を育てるのみならず、自治会が中心で積極的に活動し、自治会役員も参加を促すPR大使として自治会が中心となり、住民参加を促す活動を行い、元気を失った。元気を失った。元気を失った。</p> <p>また、本職大規模なイベントを開催し、自治会が中心で活動し、元気を失った。元気を失った。元気を失った。</p>
---------	---

2. 事業の内容

1. 1. 事業の目的を記入し、目的達成のために、具体的に何をやるかを、目的達成の手段・事業内容を記入してください。

事業の課題や、発生し、公認料・新しいアイデアや、状況などがあれば、お記入ください。

※ 事業コースを申請する場合は、これまでのご活動をととのめ、充実・発展させていくのが分かるように記入してください。

・昨年「活動」課題
 前年度より、「新活動」が中心となり、音の響きを工作から音の響きを豊かに夏祭りに披露する。また、地域の「活動」が中心となり、夏祭りに参加する機会を増やしたい。また、地域の「活動」が中心となり、夏祭りに参加する機会を増やしたい。また、地域の「活動」が中心となり、夏祭りに参加する機会を増やしたい。

- ・具体的活動
 1. 自治会イベント（夏祭り）で、「お祭り」を盛り上げるダンスの発表を行う。
 2. SNSで情報発信し、地域PRを推進する。
 3. SNSで情報発信し、地域PRを推進する。
 4. SNSで情報発信し、地域PRを推進する。

3. 事業の計画

活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受給者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。

1. 自治会主催の協賛要請にクラブを募集 4月～
2. 新規メンバーの募集（自治会会員より） 10名募集 4月
3. 音の響きの詳細を業者と打ち合わせ 4月～
4. 着ぐるみ完成・お披露目式 7月
5. 夏祭り 8月 日向町住民 500人
6. 城北地区イベント 10月 日向町住民 200人
7. キャンパススタ 10月 日向町住民 200人
8. 大発表会 1月 日向町住民 200人
9. 児童見守り 7月までは1回/月、9月以降は2回/月
10. SNSで情報発信（フェイスブック）で随時発信
11. SNSで情報発信（フェイスブック）で随時発信

4. 期待される効果

活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。

1. 住民（キャラクター）を活用し、地域に貢献し、地域活性化につながる。
2. 自治会イベントが華やかになり集客増加が期待でき、活気が生まれる。
3. 子供達が誇りにおぼえることで自信を持って学校に行ける。
4. 日向町の知名度が上がり、住み続けたい、また、移住したいと思える。
5. キャラクターの愛が平塚町全体に広がり、町の活性化につながる。

5. 協力団体等

活動・事業に協力される人、団体を記入してください。

- ・日向町自治会
- ・夢クラブ
- ・お祭り実行委員会

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

事業計画書 第 1 号 補助金申請書

項目	金額	目的的内容（勘定振替等）	
①			
補助金	500,000 円	平成 27 年度 補助金	
自治会費より	50,000 円	自治会の総務費から	
イベントの収益	20,000 円	夏祭りなどの収益より	
イベント時の寄付金	1,000 円	イベント時の寄付金から	
自治会内のカンパ活動	230,000 円	自治会内カンパ要請からの寄付	
収入合計	847,000 円	総務費 847,000 円	
②			
事業費	うち対象経費	うち補助金	
普くみるみ制作費	800,000 円	300,000 円	本体製作 480,000 円、衣裳、装飾 320,000 円
業者との打ち合わせ費	27,000 円	27,000 円	印刷、交通費
カンパ要請のチラシ作成費	20,000 円	20,000 円	自治会内配布用紙、チラシ代、印刷代
	円	円	
	円	円	
	円	円	
	円	円	
支出合計	847,000 円	847,000 円	※備品や用品を購入する場合は、それが半額に必要ならば記載してください。また、飲食代など完成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。
 ※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

受付番号	発展コース7
受付月日	平成31年2月13日

平成31年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書（入門・発展コース）

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ツ ル カ メ シャチュウ つるかめ社中			
② 所在地	平塚市花水台			
③ 代表者名	田島朱実			
④ 設立年月	平成11年 7 月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	<p>養護学校の卒業生は社会との接点が少なく、余暇活動の機会も乏しく、地域に根ざした生活が難しいのが現状である。そこで卒業後の知的障がい者の楽しい余暇活動の有効な手立てとして、過去の養護学校の学習で盛り上がりを見せた「民謡踊り」を活用したいと考えた。民謡踊りの活動を通して余暇時間の充実を図り、合わせて地域の行事等での発表が自己実現の第一になるものと考え、「つるかめ社中」を設立した。</p>			
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	<p>毎月第3土曜、なでしこ公民館等で民謡踊りの練習、年度末公民館まつりにてステージ発表。 平成29年度 12回実施 延参加者258名 平成30年度 10回実施 延参加者197名(平成31年1月末現在) その他下記ステージに出演。 平成29年度 2回出演 延参加者46名 (湘南ひらつか七夕まつり、ひらつかタマ三郎漁港まつり) 平成30年度 3回出演 延参加者63名 (平塚市緑化まつり、市民活動センターまつり、ひらつかタマ三郎漁港まつり、平成31年1月末現在) 2月16日こち平塚武番館ステージ出演予定</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	財団法人 光之村	H27.4	50,000円	講師料 小道具代
	財団法人 光之村	H21.8	50,000円	講師料 衣裳代
	財団法人 光之村	H15.10 H14.12	50,000円 50,000円	講師料 小道具代
	財団法人 神奈川県心身障害児福祉基金財団	H14.6	100,000円	衣裳代
⑨ 年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容

⑩ 会 員 数	個人 = 23 人 (うち平塚市民 14 人) 団体 = 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	① 代表	田島 朱実	平塚市花水台
	② 副代表	斎藤 恭子	平塚市八重咲町
	③ 会計	栄木喜代子	厚木市岡田
	④ 会計監査	林 恵美子	茅ヶ崎市矢畑
	⑤ 運営	今込せい子	平塚市夕陽ヶ丘
	⑥ 運営	池谷 裕子	中郡大磯町石神台
	⑦ 運営	倉本 紀子	茅ヶ崎市浜竹
	⑧ 運営	戸塚 和美	中郡大磯町国府本郷
	⑨ 運営	村澤 祥子	平塚市諏訪町
	⑩		

2 補助申請の内容

① 事業名	民謡踊りを楽しむ知的障がい者の活動
② 申請コース	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 17 万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは50万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的	<p>つるかめ社中は障がい児者の余暇活動の充実を図るために結成された民謡踊りの会で、今年20年目を迎える。近年様々なイベントのステージに出演する機会が増えて、社会の認知や理解が高まってきていることを実感している。</p> <p>しかし、これまでの活動で小道具や音響機器の劣化故障は著しく、活動に支障をきたしつつあり、小道具、機材の更新が必須である。が、資金難により思うような更新ができずにいる。</p> <p>今後も練習に励み、一層の障がい者理解を得られるように活動を続けていきたい。障がい者の地域での居場所を確保していくことは公共の福祉や社会の豊かさにつながるものと考えている。</p>
「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>「知的障がい児者が民謡踊りを楽しむ活動を通じて、地域に根ざした充実した生活を送る」を目的として、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的な民謡踊りの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回なでしこ公民館(他茅ヶ崎市柳島記念館)で民謡踊りの練習を行う。 2. 近隣イベントのステージ出演や老人ホーム訪問(年間3回程度の予定) <ul style="list-style-type: none"> ・応募、依頼により出演随時 ・平成29年度実績2回 ・平成30年度実績3回(予定1回) ・広間等でのステージではお客さま参加型の民謡踊りを工夫して実施(七夕お祭り)ではお客さまに小道具のうらわを配布して一緒に身体を動かしていただく。) <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのステージの発展系として、参加したことのないイベントのステージに挑戦する。(SunSunマルシェ等) 3. なでしこ公民館まつり ステージ発表(3月) <ul style="list-style-type: none"> ・一年の集大成として芸能発表部門に参加 2曲披露。
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的な民謡踊りの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・なでしこ公民館(他茅ヶ崎市柳島記念館)で民謡踊りの練習を行う。 ・毎月第3土曜 午後2時～4時 ・各回予定参加者23名(メンバー9名 スタッフ5名 サポーター9名) 2. 近隣イベントのステージ出演や老人ホーム訪問(年間3回程度の予定) <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所等の出演予定は未定、各回予定参加者23名。 ・応募や依頼により出演が決まり次第、下見をして先方と打ち合わせする。スタッフとも演目等協議後、実施要項を作成してメンバーに配布し、実施する。 3. なでしこ公民館まつり ステージ発表 <ul style="list-style-type: none"> ・3月 なでしこ公民館まつり 芸能発表部門に参加 予定参加者23名
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>20年前の結成時、メンバーの居住地が広域(平塚・茅ヶ崎・厚木)で活動拠点探しに苦慮したが、養護学校の体育館を借りるのではなく、公民館での活動にこだわった。以来なでしこ公民館と地域の協力を得て、地道な活動を行ってきた。この20年を振り返ると、当初は福祉関係のイベントのステージ出演が主だったが、近年、七夕ステージ等一般のイベントでのステージ出演が増えてきた。認知度の高まりとともに、活動も広がってきた。実践の積み重ねにより、弱者の権利拡大に少なからず寄与してきたという思いもある。そして、メンバーの練習の楽しみ、ステージへの熱い思い、練習意欲の高まりを実感している。つまりかめ社中の活動で社会の障がい者理解が深まり、障がい者の社会参加の機会が増えて自己実現の一助となった。さらに活動を進めることで、障がい者自身の充実した生活、一層の障がい者理解が得られるものと期待している。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p>	<p>なでしこ公民館 地域のみなさま</p>

4 収支予算書(申請事業に限定した予算)

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	金額	具体的な内容(積算根拠等)		
① 収入				
補助金	170,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
団体会員の会費	20,000 円	団体会員年会費の一部を事業費に充当		
	円			
	円			
	円			
収入合計	190,000 円	発展コース：対象経費 190,000 円 × 90 % = 171,000 円 補助金：17,000円		
② 支出				
項目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容(積算根拠等)
物品購入費	183,500 円	183,500 円	170,000 円	印刷費(複写機用紙)100,000円、コピー機用紙(3000円×10冊)100,000円、 印刷用紙(複写機用紙)100,000円、複写機用紙(複写機用紙)100,000円、更新が必要なもの。
消耗品	5,000 円	5,000 円	0 円	花笠送料2,000円 切手代1,600円 CD-R代1,400円
印刷代	1,500 円	1,500 円	0 円	PCインク代 1,500円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
支出合計	190,000 円	190,000 円	170,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目に記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

● 平塚市市民活動推進補助金審査会

平塚市市民活動推進補助金審査会は、市民活動や地域活動に関し、専門的知識又は学識経験を有する者から構成されています。補助金の交付の対象・補助額の審査選考を行います。

委員長	藤巻 裕之	東海大学 政治経済学部 政治学科 准教授
委員	東樹 康雅	認定 NPO 法人 藤沢市民活動推進機構 育成支援マネージャー
委員	藤井 京子	一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ 理事 准認定ファンドレイザー
委員	寺山 泰郎	平塚の在宅ケアを考える会
委員	佐藤 由美子	ほん和かママ 代表
委員	横田 裕	フェニックスサービス(株) 代表取締役
委員	加藤 茂	平塚市自治会連絡協議会 幹事 豊田地区自治会連絡協議会 会長

●平塚市協働のまちづくり基金への寄附を募集しています！

当補助金は、平塚市協働のまちづくり基金を財源としています。平塚市協働のまちづくり基金は皆様からの寄附により支えられています。みなさまの温かい御寄附をお願いいたします。

◇寄附の方法

銀行振り込み、直接持込み等さまざまな方法があります。協働推進課に御連絡ください。また、ひらつか市民活動センター窓口では古本と寄附金が引換えになる「たすけ愛古本市」も開催中です。

◇税金の控除

ふるさと納税の制度を使って、平塚市へ寄附をしていただくと、多い方で寄附金の9割以上の金額の税金が控除となります。(詳しくはお問い合わせください。)

◇いままでに協力いただいている寄附の紹介

市川商事株式会社様・一般社団法人日本リンパ協会様・ひらつか自治体財政研究会様・ひらつか市民活動連絡協議会様・湘南リンパ四季の会様・株式会社 一平不動産様・スーパーD´ステーション平塚駅前店様・市民病院売店組合様・ひらつか市民活動センターまつり実行委員会様・熊沢博樹様・千葉英司様・NPO法人うらら様・NPO法人湘南NPOサポートセンター様・積水ハウス株式会社湘南支店様・ふくろうの会様・社団法人平塚青年会議所様・神奈川県立平塚江南高等学校生徒会様・ペットキャップリサイクル湘南様・グランドホール金目店様など

◇たすけ愛自動販売機（社会貢献型自動販売機）◇

飲み物を買くと、その売り上げの一部が寄附となる自動販売機です。設置してくださる方を募集中！

設置協力企業の紹介：市川商事株式会社 様／横浜銀行平塚支店 様／浜岳産業株式会社 様／

平塚市民病院売店組合 様／湘南倉庫運送株式会社 平塚営業所 様／